

## 第2回常任理事会会議録

日 時 平成20年5月19日（月）午後3時～同4時40分  
場 所 日本歯科医師会 801・802会議室  
出席者 <会 長> 江藤一洋  
<副 会 長> 黒崎紀正、井出吉信  
<総務理事> 住友雅人  
<常任理事> 高津茂樹、川添堯彬、高木忠雄、平井敏博、  
土屋友幸、江里口 彰、恵比須繁之、荒木孝二  
第21回日本歯科医学会総会  
<準備委員長> 伊藤公一  
日本歯科総合研究機構  
<研究部長> 石井拓男  
欠席者 <常任理事> 佐藤田鶴子、後藤滋巳、宮崎 隆

[議長 江藤会長]

### 1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

### 2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

### 3. 報 告

#### 1) 一般会務報告

住友総務理事より、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

一般会務報告（平成20年4月18日～平成20年5月18日）

第1回常任理事会会議録（平成20年4月18日開催）

#### 2) 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告

伊藤準備委員長から、次の資料に基づき、準備状況報告がなされた。

総会関係報告（平成20年4月18日～平成20年5月18日）

#### 3) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

学会会計収支計算書（平成20年4月1日～平成20年4月30日）

□第 21 回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書

(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 4 月 30 日)

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

▶歯科医療協議会

黒崎副会長より、自身が座長を務める標記協議会について、委員名簿に基づき報告。先進医療の取り扱いについて、早急な対応が求められている事項もあることから、必要に応じてワーキンググループを立ち上げ、厚労省担当部局と折衝していく旨補足説明がなされた。

(2) 歯科医療技術革新の推進

江藤会長より、「歯科医療機器の開発・改良における承認・認可への対応」に係わる日本歯科理工学会からの答申書の取り扱いについて、6月17日開催の歯科医療技術革新推進協議会で協議した上で、関係分科会に対しパブリックコメントの形式で意見を求める予定である旨報告がなされた。

また、新医療機器産業ビジョンに歯科関連事項を盛り込むことを目指した本学会の対応経緯についても、同協議会に報告する旨説明がなされた。

(3) 学会機構改革の推進

特になし。

(4) 専門医制度の確立

▶「広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等について」の一部改正について

住友総務理事より、標記資格名等の改正内容について、資料に基づき報告がなされた。

(5) 国際交流の推進

▶日中歯科医学大会 2008 について

江藤会長から、日中歯科医学大会 2008 大会の準備に関わる進捗状況報告がなされた。

#### 5) 会長報告

江藤会長より、中央社会保険医療協議会委員構成等について、資料に基づき報告がなされた。

#### 6) 平成 21 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者の推薦について

住友総務理事より、文部科学省研究振興局長からの標記推薦要請への対応として、各分科会に対し情報を提供した旨報告がなされた。

#### 7) その他

○江里口常任理事より、日歯関係事項として、平成 20 年度診療報酬改定で新設された歯科外来診療環境体制加算の算定要件の一つに、「所定の研修を修了した常勤歯科医師の配置」が挙げられていることを説明、本学会学術講演会が所定の研修として取り扱われるよう配慮されたい旨要望がなされた。

江藤会長より、日歯の要望に対する本学会の対応について諮られ、協議の結果、協力していく方針を確認、具体的事項について早急に協議していくこととした。

### 4. 協 議

#### 1) 重点計画の推進

##### (1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

江藤会長より、10 年あるいは 20 年後を見据えた長期的展望で歯科医学の進歩・発展を構想していくことの重要性を説明した。

学術研究委員会委員と各認定分科会選出委員から成る取材チームを組織し、本年 11 月に開催される第 21 回日本歯科医学会総会の発表演題の中から、先進的かつ革新的内容のものを取り上げて、本学会活動に寄与させていきたいとの表明があり、これが承認された。

##### (2) 歯科医療技術革新の推進

江藤会長より、日本歯科理工学会の答申書について、関係分科会からのパブリックコメントを基に、本学会としてのアクションプランを構築していきたいとして諮られ、協議の結果、全会で承認された。

(3) 学会機構改革の推進

▶口腔インプラント学卒前教育基準について

井出副会長より、標記教育基準に関する学際領域問題検討委員会からの答申書を関係方面に報告したいとして諮られ、協議の結果、承認された。

(4) 専門医制度の確立

江藤会長より、歯科に関する専門医資格認定制度のあり方について、国民、患者、行政等の関係者を交えた公開懇談会を開催し、透明性の高い議論を展開していくことで問題の解決を図りたいとして諮られ、協議の結果、その方向性は承認された。

(5) 国際交流の推進

①FDI プロジェクト提案に係る資料提供について

住友総務理事より、日歯より要請のあった標記資料の提供について、資料に基づき諮られた。

協議の結果、ガイドライン作成に関する厚労省検討部会の協議状況をみながら、本学会で既成の院内感染対策ガイドラインの英文化を検討することが承認された。

②第96回FDI年次世界歯科大会総会において審議予定のFDI政策声明案の検討について

住友総務理事より、各専門分科会に対し標記政策声明案への意見を伺い、それを基に日本歯科医学会としての提言を行いたいとして諮られ、協議の結果、全会で承認された。

江藤会長より、FDIにおける日歯の地歩を固める観点からも、発展途上国の歯科医療発展に資するものとなるよう検討していく必要があると補足説明がなされた。

③第96回FDI年次世界歯科大会への本学会代表の派遣について

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り承認された。

④その他

○江藤会長より、▽日本・中国・韓国・ASEANによる歯科医学教育学会、▽先端歯学国際教育研究ネットワークについて説明があった。

○江里口常任理事より、日歯が都道府県歯会等との協力のもと開催する「歯の健康力推進歯科医師等養成講習会」における講師の推薦要請があり、協議の結果、講演内容に応じた講師陣を推薦していく方針を確認した。

### 3) 事業計画の推進

#### (1) 平成 20 年度プロジェクト研究について

住友総務理事より、標記研究テーマの採択方について資料に基づき諮られた。

協議の結果、関係方面から提出のあったテーマ案を基にし、四役と学術研究委員会正副委員長とで採択テーマを決定することが、全会で承認された。

・江里口常任理事より、今後は公募テーマを具体的に例示する方が良いのではないかとの意見が出された。栗原常任理事より、ビスホスホネート系薬剤に関連するテーマも検討されたいとの要望があった。

#### (2) 第 44 回 ISO/TC106 イエテボリ会議への委員派遣について

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、委員を派遣することとし、人選については会長一任とされた。

#### (3) 社会保障審議会統計分科会「疾病、障害及び死因分類専門委員会」の専門委員の推薦について

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、委員を推薦することとし、人選については会長一任とされた。

#### (4) 「診療行為に関連した調査分析モデル事業」岡山地域の協力医の推薦について

住友総務理事から、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、各担当者を推薦することとし、人選については会長一任とされた。

#### (5) 後援名義貸与について

住友総務理事から、標記について資料に基づき諮られ、全会で承認した。

▶別紙参照

(6) 役員派遣について

住友総務理事から、役員派遣について資料に基づき諮られ、全会で承認された。

▶別紙参照

4) その他

・江藤会長より、ビスフェノール A に関する患者向け情報の提供について諮られた。

協議の結果、日本歯科医学会ホームページに関連情報を掲載、他学会ホームページからリンク可能な体制を構築することとし、掲載情報の作成にあたっては日本歯科理工学会を含む関係分科会の意見を伺うこととした。

・江藤会長より、中国・四川省大地震並びにミャンマーのサイクロン被災地に対する義援金の募集について諮られた。

協議の結果、中国とミャンマー分の義援金を併せて募集することとし、その金額については、個人一口 1 万円、分科会一口 5 万円とすることを決定した。なお、各国への分配額については、今後検討することを確認した。

・次回、第 3 回常任理事会：6 月 16 日（月）午後 3 時より開催することを確認した。

5. 閉 会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。